受付番号	202411		
許可番号	大歯医倫 第 111363 号		
研究課題名	公衆衛生看護における事業実装力向上プログラムの開発		
研究責任者	宮本 圭子	申請者	宮本 圭子
研究終了日	2025 年 9 月 30 日		
所属	看護学部 公衆衛生看護学領域	所属	看護学部 公衆衛生看護学領域
職名	助教	職名	助教

申請の概要

Green (2009) が指摘しているように公衆衛生やその政策に関する実践と新しい知見には大きな隔たりがあり、日本も同様である。そのため、エビデンスに基づく取り組みを効率的、効果的に現場に導入する方法を開発検証し、その取り組みの普及を促進するために普及と実装科学 (Dissemination and Implementation Research : D&I) が生まれ、発展を続けている (Shelton et.al, 2020)。

日本における公衆衛生活動のフロントランナーである保健師が、より複雑化、多様化していく問題に対応するためには、新しい知見を探し、その知見を基に自ら解決策を作り上げていく事業実装力を持つことが不可欠である。新任保健師は新規事業の導入や既存の事業改善など保健師活動で不可欠な業務に取り組むことは少ないが、シミュレーションを通して自身の実践に適用する事業実装力の基礎を習得することは、その後の準備性を高め意義があると考えられる。さらに公衆衛生看護技術の教育基盤の整備により、保健師能力の向上、ひいては地域の公衆衛生の向上に寄与することが期待される。そこで新任保健師を対象とした事業実装力向上のための web 研修を開発し、その効果について主要評価項目である Implementation Degree assessment sheet (IDAS) と研修理解度により検証した。

大阪大学との共同研究である本研究は副次評価項目において、教育プログラムにおける保健師の研究成果活用力とワークエンゲージメントの効果について混合研究の手法を用いて分析、評価する。本学の役割は分析評価である。